**令和　　年　　月　　日**

**○部**

**鈴木一郎 殿**

**○部 ○課**

**山田太郎**

**経費不正使用 顛末書**

**１．事案の概要**

**私が令和　年　月　日から令和　年　月　日にかけて、会社の経費精算制度を不正に利用し、私的支出（例：私的な飲食費・交通費）を業務経費として申請・承認を受けた事実が判明しました。**

**２．発生の経緯**

**当該期間中、業務関連の出張や外出が続いたことから、私的な飲食費を業務に関連するものと偽って経費申請を行ってしまいました。**

**その後、経理部門からの確認および上司からの指摘により不正が発覚いたしました。**

**３．原因の分析**

1. **経費規程の遵守意識が欠けており、安易に「少額だから問題ない」と考えてしまった。**
2. **私的支出と業務関連経費の線引きに対する理解不足。**
3. **自己都合を優先し、コンプライアンス意識が著しく欠如していた。**

**４．影響・ご迷惑**

**今回の不正により、会社の経理処理に混乱を招き、経費適正管理の信頼性を損なう結果となりました。**

**また、社内外に対して不誠実な印象を与えかねず、会社の信用失墜につながる行為であったと認識しております。**

**５．再発防止策**

1. **今後は経費規程を改めて熟読し、私的利用は一切行わない。**
2. **経費申請時には必ず上司に確認を取り、不明確な支出は申請を控える。**
3. **社内コンプライアンス研修を自主的に受講し、ルール遵守意識を強化する。**
4. **再発防止の誓約書を提出し、会社の信頼回復に努める。**

**６．謝罪**

**このたびの私の不正行為により、会社および関係者の皆様に多大なご迷惑とご心配をおかけしましたことを、心より深くお詫び申し上げます。**

**今後は一層の誠実さをもって業務に取り組み、二度と同様の過ちを犯さぬよう全力で努めて参ります。**

**以上**